

ひたちとアジア

第60号

2019年(平成31年)2月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会

「MIFA 国際交流フェスティバル」と視察ツアー 「民音音楽博物館」へ行ってきました

今年度の視察ツアー「バスで行くアジア文化めぐり」は、1月20日(日)に参加者29名で実施しました。行先は2か所。1か所目は、公益財団法人目黒区国際交流協会(MIFA)主催のめぐろパーシモンホールで開催された「第14回MIFA国際交流フェスティバル」(東京都目黒区)。2か所目は、一般財団法人民主音楽協会が運営する、世界でも数少ない音楽博物館「民音音楽博物館」(東京都新宿区)です。

当日早朝に日立シビックセンターを出発し、車内では昨年8月に開催した当会20周年記念イベント「アジアフェスティバル」の記録映像を鑑賞。会場に到着後、各自自由にイベントを視察しました。今回の目的の一つに、毎年11月に当会と日立市内の国際交流団体が実行委員会を組織し実施している「ひたち国際文化まつり」に活かすということがありました。入口で配布された会場案内や、在住外国人向けの防災コーナー、外国人と日本語で会話を楽しむコーナーなど、ひたち国際文化まつりにつながられるものが数多くありました。

午後は、民音音楽博物館で、ピアノや世界各国の民族楽器の歴史について学びました。館内スタッフに、ピアノの変遷を実際に演奏しながら解説してもらい、参加者は異なる音色に当時の様子を想像しながら耳を傾けていました。夕方には無事帰着し、充実した視察となりました。



キルギス大使館ブース



「ALTと遊ぼう!」ブース

会場には、ラトビア、エジプトなど12か国の大使館ブースがあり、民族衣装を着たスタッフが民族楽器を演奏したり、国の風景写真や雑貨が並んでいたり賑やかでした。

バンブードダンス、フェイスペイント、折り紙など、子どもたちが楽しめるブースもありました。コーナーの配置など随所に工夫が見られ、学べるものが数多くありました。

参加者感想

MIFA 国際交流フェスティバルでは、入口近くに大震災・詐欺への注意があったのが印象的でした。そのブースで押すと光る可愛いグッズをもらい、フロアを進むと、世界の国々の大使館ブースが。各ブースには、その国の「こんにちは」の文字が掲示され、その言葉で挨拶をすると、国旗シールがもらえました。また、各国の手工芸品や食べ物が並び、買い物も楽しめました。その後、茶道を体験し、華やかなステージも鑑賞できました。外国人と日本語で会話できるブースでは、外国の方々が流暢な日本語で話してくれました。

民音音楽博物館では、館内のスタッフが、チェンバロから古典ピアノ、現代のピアノまで計8台を1台ずつ演奏してくれました。それぞれ異なる味わいある音色は、タイムスリップしてその当時の世界にいるような感覚でした。オルゴールの部屋では、様々なオルゴールが並んでいました。凝った装飾箱の中からきれいな音や、からくり人形が出てくるなどの楽しい仕掛けと、その音色の素晴らしさを堪能してきました。時間がとても短く感じられた楽しい一日でした。(小川朝子記)



めぐろパーシモンホール入口にて

「第16回ひたち国際文化まつり」開催 文化に触れて、体験して、国際交流の輪が広がって…

第16回目となった「ひたち国際文化まつり」は、当会を含む日立市内の国際交流団体10団体が実行委員会を組織し、昨年11月11日(日)に日立シビックセンターにて開催しました。(展示コーナーは11月6日～11日)

当日は、各団体による日頃の活動の成果をまとめた展示や、海外の遊び体験、外国人の方による日本語での意見発表、日本文化体験、国際料理が味わえる国際屋台村など21の企画が楽しめ、展示コーナーを含む期間中の来場者はのべ2,300人でした。外国人の方が和服着付け体験コーナーで、振袖や浴衣などを着せてもらい、家族や友人と笑顔で記念撮影をしていたり、「子どもを連れてきて参加できる内容で楽しかった」などの意見もあったりするなど、幅広く多くの方に楽しんでいただくことができました。

さらに国際交流の楽しさ、素晴らしさを多くの方に知っていただけるよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。

1F 展示・発表・体験コーナー



日立市と姉妹都市タウランガ市の子どもたちが描いた絵画展や、日立第一高等学校イギリス海外研修の紹介展示、日立市内中学生による英語発表、留学生



によるお国紹介、海外の遊びの体験、和服着付け体験などが行われました。

2F 発表・交流コーナー

環境、家庭、平和、教育などをテーマに、外国人の方が日本語で意見発表を行いました。日本での生活で感じた実体験を基にした発表には、心打つものが数多くありました。



4F 飲食コーナー



韓国、タイ、フィリピンの家庭料理やバン格拉ディッシュ風インドカレーなどを販売しました。タイ料理のガパオライス、フィリピン料理のチキン・アドボなど数種類の料理が並び、その場で食べられる場所も設けました。

5F 文化紹介コーナー

文化紹介として、ラオスのクラフトや紅茶、アジア諸国で集めた手工芸品の販売、中国茶の試飲や、中国の昔遊びの体験をはじめとした中国について知ることができる展示などが行われました。併せて、生け花や、茶道といった日本文化の体験も行われました。



7F 相談コーナー

在住外国人の方向けに、弁護士による生活無料相談会が開かれました。

各コーナー

生け花を学ぶ外国の方が生けた風情ある生け花が並び、各コーナーを彩りました。



カンボジア通信

第4シリーズ No.7 (最終回)

農業プロジェクト調整員 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後 2009 年からカンボジアに渡航。教員養成校の理数科教師として活動し、現在は農業関係のプロジェクトに従事されています。今年5月にプロジェクトが終了し、その後は帰国の予定です。

～カンボジアの農協事業に携わって～

農村に行くと、携帯電話の電波はごく僅か、ほとんど切断されている事ばかりですので、インターネットは使えません。そのため、写真をメールに添付して送ったり、オンライン通話をしたりすることができず、より多くの農村を訪ね農家の方々から直接話を聞くしか調査方法はありません。農作物の病気対策、水不足、仲買人との関係、マーケットの開拓など、農家が抱える問題を見つけては、その方面の専門家や農協を紹介するなどして情報を共有する事が、プロジェクトの重要な役割の一つでした。私は農業の専門家ではないので、具体的な解決策の提案はできませんが、このような人と人とのマッチングを通して問題が解決された時は本当に嬉しく思いました。そんな手助けが少しはできたのかなと思います。

さて、カンボジアの農協事業に携わって早2年半。5月でこのプロジェクトが終わると同時に、私は家族と共に帰国します。カンボジア通信はこれで最後となります。この国の農業について、国の政策レベルから農家の草の根レベルに至るまで、幅広く関わる事ができたと感じています。当初はあまり田舎に行くのは好きではなかったのですが、農家を訪ねると、パパイヤ、ヤシ砂糖、コメ、鶏卵、コシヨウな

どをお土産で持たせてくれる事があり、昼食をいただくこともありました。我々外国人を自分たちの家族のように受け入れてくれるカンボジアの人々の懐の大きさを、我々日本人も学ばなければならないと感じました。カンボジアの農村を好きになりつつある中、帰国してしまうのは少し残念ですが、カンボジアの農村に入り込んだ事で、都市部に住んでいたら決して知り得なかった情報を沢山仕入れることができました。将来、日本を含めた様々な国でもこの知見を活かしていけたらと思います。次はどの国に飛び立つかわかりませんが、しばらくは日本でおとなしくするつもりです。カンボジアの方々から色々な事を教わった2年半でした。今までカンボジア通信を読んでいただき、本当にどうもありがとうございました。



カンボジアの農村では、エコーツーリズムを行っている所もあり、欧米人に人気です。

日立市の国際交流関連団体との交流記録 2018年8月～

◆こうがく祭見学 (11/3)

茨城大学工学部にて開催された「2018こうがく祭」を午前中見学。中国人留学生のブースとマレーシア人留学生のブースを訪問しました。どちらのブースもそれぞれの国の料理を販売していました。

◆NHK 水戸「いばっチャオ」出演 (11/9)

NHK 水戸放送局にて、11時40分からのお知らせコーナー内の2分間生放送で「第16回ひたち国際文化まつり」開催のお知らせを行いました。出演は会長、事務局、タイ人の親子とその友人の計6名。

◆お礼訪問：茨城キリスト教大学 (11/27)・日立第二高等学校 (11/27)・永山着装学園 (12/4)・日立第一高等学校 (12/11)

ひたち国際文化まつりのへ参加協力をいただいている各学校・学園を訪問し、お礼と今後の協力要請をしました。

◆フレンドリーあんず年忘れ文化交流会参加 (12/16)

会瀬交流センターにて開催された年忘れ文化交流会に参加。参加者は約100名。会員や参加者の持ち寄りによる手作りの料理が並ぶ中、剣詩舞、日本語と英語のドレミの歌、出身国にまつわるクイズ、舞踊、ヒップホップダンスなどが披露され、会場全体が一体となって盛り上がりました。

情報コーナー

アジア文化講演会「東南アジアの自然と文化－東南アジアの特徴と経済成長」

日本にとって重要性が高まっている東南アジア。東南アジアの特徴を自然と文化の関係から解説するとともに、近年の経済成長を考察します。ロヒンギャの人々に代表される少数民族問題についても、社会的排除と異文化交流の視点から検討していきます。



岩間信之
(茨城キリスト教大学文学部教授)

と き 5月25日(土) 午後2時から午後3時30分まで
場 所 日立シビックセンター 会議室502号(5階)
講 師 岩間信之(茨城キリスト教大学文学部教授)
受 講 料 無料(定員90名)
お申込み 4月13日(土) 午前10時から電話受付(TEL:0294-24-7711)

関連団体のイベント・活動の紹介 2019年3月～7月 一般参加可能は★印

タイトル	日時	場所	主催	問合せ
日本語教室	①毎週火曜日 19:00～ ②毎週金曜日 14:00～	①女性センター ②教育プラザ	フレンドリーあんず	①0294-35-3989(高坂) ②0294-24-7261(黒澤)
外国人のための生け花クラブ	毎月1回 水曜日 10:00～	教育プラザ2階 国際交流サロン		0294-21-4150(福地)
"日立さくらまつり"を 楽しむ会★	4月6日(土) 11:00集合	教育プラザ2階 国際交流サロン		
夏祭り★	7月予定	会瀬青少年の家 バーベキュー広場		
第15回フレンドシップ・キルト展★	2月27日(水)～3月3日(日)	日立シビックセンター ギャラリー	第15回フレンドシップ・キルト展実行委員会	0294-22-3111[内線535] 日立市市民活動課 根本
夢ホーム・里子訪問の旅 in Cambodia★	①3月7日～13日 ②7月4日～10日	カンボジア	カンボジアの子ども達に 夢と希望を贈る市民の会	iha-kikuchi@net1.jway.ne.jp (菊池)
国際交流スポーツのつどい★	3月16日(土)	日立体育館 (日立市会瀬町)	日立国際交流協議会	0294-22-3111[内線595] 日立市市民活動課 三井
ガールスカウト日立市 姉妹都市交流2019 ～ニュージーランド タウランガ派遣～	3月21日(木) ～4月4日(木)	ニュージーランド タウランガ市 ほか	ガールスカウト 日立市国際交流委員会	g.s.kokusai@gmail.com (ガールスカウト日立市国際交流委員会)
日本食文化体験★	6月(予定)	会瀬交流センター	日立ユネスコ協会	0294-35-6034(藤原)

活動記録 (2018年10月1日～2019年2月28日)

- ◆活動推進部会(定例会)
10/19, 11/16, 12/21, 1/18, 2/15
- ◆広報部会 12/21, 1/18, 1/23, 1/25
- ◆平成30年度会員 132人(2/28現在)
- ◆活動推進部会 37人(2/28現在)

編集後記

この会が1997年に発足して20年以上が過ぎ、昨年8月には節目の記念事業として「アジアフェスティバル」を盛大に行うことができました。日立市や近隣に在住している外国人の方々の協力を得て、地道な交流を積み重ねてきた歴史のもとに当会はあります。国際化がますます進む今、私達は「ひたちとアジア」だからできることをモットーに、会員の想いをひとつにして地域と社会とのつながりを大切に活動していきたいと思えます。(松本記)

～広報紙「ひたちとアジア」は日立シビックセンターホームページでもご覧になれます～
《お問合せ/入会希望など》ひたちとアジアの文化交流をすすめる会事務局

〒317-0073 日立市幸町1-21-1 日立シビックセンター内
TEL:0294-24-7711 FAX:0294-24-7970 E-mail:salon@civic.jp